

Z会主催「英語語彙指導法研究会」@東京会場 実施レポート

開催日時	2012年9月17日(月・祝) 14:00-17:35
会場	TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター 5階ホール5B
<p>▼当日のプログラム</p> <p>14:00～15:00 講演①：麗澤大学外国語学部教授 望月 正道 先生 15:10～16:10 講演②：「速読英単語」シリーズ執筆者 風早 寛 先生 16:20～17:20 速読英単語 指導実践例紹介：新潟県立長岡大手高等学校教諭 星野 真博 先生 ※参加者人数：181名</p> <p>講演① 望月 正道 先生</p> <p>テーマ：<u>「第二言語習得研究に基づく英語語彙の効果的な指導法」</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ 語彙指導の方法論へ展開する導入として、テンポの良いいくつかのクイズを盛り込む。・ 語彙テスト1（語彙サイズを測る）・ 語彙テスト2（1つの単語の様々な側面（発音、多義語、文法、使用域など））・ 語彙テスト3（すぐに単語が浮かぶかという語彙アクセス速度検証）・ 語彙指導クイズ3 コミュニケーション英語Iの教科書の新出語を意味不明な文字列に置き換えた場合、意味が取れるか ⇒未知語の意味を文脈から推測できる条件は、100語中98語以上が既知語であること。すなわち語彙サイズを大きくすることが第一の目標と言える。 <p><u>【講演② 風早寛先生の講演レポートは次のページに続きます】</u></p>	

講演② 風早 寛 先生

テーマ：「英単語集の作成プロセスをもとに考える、単語集の役割とその活用法」

- 近年の難関大入試と速単カバー率の検証。風早先生作成のデータベースの一部を例示し、確かなカバー率を維持していることを示す。
- 「リスト」vs「文脈」は二者択一ではない。学習段階やレベルによる。
- 最後に近年の入試で、未知の単語を推測させる力が求められていることにも触れ、10 の推測法を提示。
- 同じ英文を繰り返し読むことで得られる背景知識も長文理解のためには大切。
難関大に多くの生徒を合格させる方向性のご提案：カバー率が 98%程度の検証済みの単語帳を与え、98%近くまで学習が進んだ合格候補集団を確実に養成すること。単語帳のカバー率が 80%や 90%くらいでは生徒はとても苦戦する。

【速読英単語 指導実践例紹介

星野真博先生のレポートは次のページに続きます】

速読英単語 指導実践例紹介 星野 真博 先生

テーマ：「なぜ速単を使うと結果が出ちゃうの？」

- ・ 結果を出さなければいけなかった背景（新潟県大学進学率全国 47 位。県からの要請）の紹介。
- ・ 同僚の教員が採用した速読英単語を自分でも使ってみると結果が出た。転勤後、さらにテストを改良して使用したところ校外での模擬試験の学年平均偏差値が 3 ポイント上昇。小テストは次学年以降も継続して使用され、その成績を維持している。
- ・ 高校 1 年生では DataBase（桐原書店）。高校 2 年生から高校 3 年生にかけて速読英単語 必修編を 3 周。毎授業前に自作の小テストを実施。ポイントは「10 分 / 8 割合格ライン / 8 割の合格者」。小テストの難易度は簡単すぎる位でよい。
(小テストの詳細)
 - 一巡目：スパイラルにテストできるよう、大問ごとに出題範囲をずらして設定。大問 1（1 回目）は英文中の単語の意味を書かせる（読んで意味がわかるようにすることがポイント）。主に英文ページの「check」から出題。大問 2、3（2 回目）は英文中の日本語→英語、和文英訳中の空所補充など（英文を読み込ませることがポイント）。
 - 二巡目：英文和訳、和文英訳中の空所補充、発音・アクセント、派生形などの問題（単語の解説ページを読ませることがポイント）。
 - 三巡目：単語ページの例文や熟語、多義語の意味などを問う問題。一、二巡目で確実に点をとらせ、三巡目では重箱の隅を突くものを出題（ただし、受験生はきちんと学習してくる）。
- ・ 後半では語彙意味論の観点から、速読英単語の有用性を検証。「言語の意味は（単語の）単純な和ではなく文単位や文脈で決定される。どの語とどの語が、どの語とどの構文が結びつくかの決定は経験に拠る部分大きい」ことから、「英文をたくさん読む中で覚えるのが、遠回りのように一番確実なのです（速読英単語 必修編 第 5 版 pp.6-7）」という速読英単語のコンセプトは理にかなっており、それが結果に結びつくと見解を示す。